

# フタスジサナエ

*Trigomphus interruptus* (Selys)  
トンボ目・サナエトンボ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

現存の生息地は1地点に限られ、危機的な状況にある。

## 分 布

本県、静岡県以西の本州、四国、九州に分布する。県内では、かつては小浜市、高浜町で記録があったが、現存する生息地は高浜町の1か所のみ。

## 種の特徴

体長44～50mm。胸側に2本の黒条がある個体が多く、胸部の斑紋のほかオス尾部付属器やメスの産卵弁の形状で同属他種と区別する。平地～丘陵地の周囲に樹林のある池沼に生息。成虫は主に5月上旬～6月下旬に出現。幼虫期間は2～3年程度。

## 生息を脅かす要因

生息地の埋め立てや改修が脅威となる。県内の現存する生息地でも堰堤の改修工事が行われており、水位の変化が本種の生存に影響を与えている。

参考文献 福井県自然保護課(2002)、環境省(2015)、尾園ら(2012)、和田・和田(2006)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○		○												

# キイロヤマトンボ

*Macromia daimoji* Okumura  
トンボ目・ヤマトンボ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

## 選定理由

生息地が局限されている。

## 分 布

国内では本州(福島県以南)、四国、九州に分布するが、生息地は限られている。県内では、小浜市とおおい町の南川の一部にのみ生息する。

## 種の特徴

体長75～83mmの大型のトンボ。黒地に黄色の斑紋があり、コヤマトンボに似るが、腹部第3節の黄斑が斜めに断ち切れている。砂底ないし砂泥底の河川に生息する。成虫は6～7月に出現する。

## 生息を脅かす要因

河川改修や洪水による川底の環境変化が脅威となる。生息地周辺や上流側での河川改修は最小限度にとどめることが望まれる。

参考文献 尾園ら(2013)、和田茂樹・和田洋一(2006)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
		○			○												

# カオジロトンボ

*Leucorrhinia dubia* (Van der Linden)  
トンボ目・トンボ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

生息地が局限されている。

## 分 布

国内では北海道、本州(中部以北)に分布する。県内では、大野市の赤兎山山頂付近の池塘(赤池)が唯一の生息地で、同地が国内の分布南西限である。

## 種の特徴

体長31～39mmの小型のトンボ。黒みが強く、額が白色となる。高地の池塘に生息する。成虫は6～8月に出現する。

## 生息を脅かす要因

池塘の乾燥等が脅威となる。近年は生息地の水面の縮小が認められる。

参考文献 尾園ら(2013)、和田・和田(2006)

市 町 別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	